



令和6年5月16日

笹谷及び南矢野目市有地の優先交渉権者が決定！

笹谷及び南矢野目市有地の売却について、笹谷市有地は医療機能、南矢野目市有地は商業機能を核とし、利便性を向上させる複合施設や、地域との連携・防災にも貢献する事業者を公募しておりましたが、審査委員会の開催により審査の結果、優先交渉権者が決定したことから公表します。

記

1. 優先交渉権者

(1) 笹谷市有地

社会医療法人福島厚生会 理事長 千葉 勝実

(2) 南矢野目市有地

イオンタウン株式会社 代表取締役 加藤 久誠

2. 事業概要

(1) 笹谷市有地

- ・福島第一病院の移転新築
- ・2028 年秋 開院予定
- ・急性期と回復期のケアミックスを担い、地域連携を強化する新病院の実現を目指す
- ・核となる施設の計画
病床数 150～196 床
診療科 内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、人工透析、外科、
心臓血管外科、消化器外科、麻酔科、整形外科、リウマチ科、
リハビリテーション科、歯科
- ・複合する施設の計画
多目的ホール、多目的広場

(2) 南矢野目市有地

- ・商業施設の整備
- ・2027 年春 オープン予定
- ・計画地とイオン福島店の差別化と機能分担により、相乗効果を発揮する一体的な「多世代交流拠点」づくりを行う
- ・核となる施設の計画
「やのめ市場」、「書籍＆カフェ・生活雑貨」、「地域の医療・健康増進に寄与する施設」の3つのコンテンツを中心に展開し、地域生活者のニーズに対応
- ・複合する施設の計画
コミュニケーションスペース、子ども図書館、イベント広場、緑の遊歩道の4つの「交流の場」を展開

担当：市街地整備課 市街地整備係
課長 佐々木 課長補佐 穴戸
電話 024-525-3763（直通）

< 笹谷及び南矢野目市有地の公募 > 優先交渉権者の決定！

市有地の利活用に向けて公募しておりましたが、審査委員会の開催により審査の結果、両市有地の優先交渉権者が決定しました。今後は、売買契約に向けて優先交渉権者と協議を進めます。

位置図



笹谷市有地



南矢野目市有地

経過

- 昭和61年 区画整理事業区域内に学校用地確保を決定
➡笹谷：小学校用地 南矢野目：中学校用地
- 平成3年 区画整理事業の認可
- 平成11年 学校建設の取止め
➡社会情勢の変化や児童・生徒数の動向による
- 平成19年 区画整理事業完了
- 平成23～ 応急仮設住宅として活用
- 令和2年 ➡東日本大震災以降、両市有地を活用
- 令和4年 地元住民を中心とした「検討委員会」を設立
➡民間活力により地域の発展・貢献につながる
土地利活用の方針を議論
- 令和5年 事業提案の公募開始
- 令和6年 **優先交渉権者の決定**
土地の売買契約締結（予定）

●優先交渉権者の決定 笹 谷 令和6年1月23日
南矢野目 令和6年4月30日

笹谷市有地の提案内容

記者配布資料

優先交渉権者

社会医療法人福島厚生会 理事長 千葉 勝実

提案内容

福島第一病院の移転新築

<コンセプト>

**急性期と回復期のケアミックスを担い
地域連携を強化する新病院の実現**

核となる施設

病床数 150～196床

診療科 内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、
人工透析、外科、心臓血管外科、消化器外科、
麻酔科、整形外科、リウマチ科、歯科、
リハビリテーション科

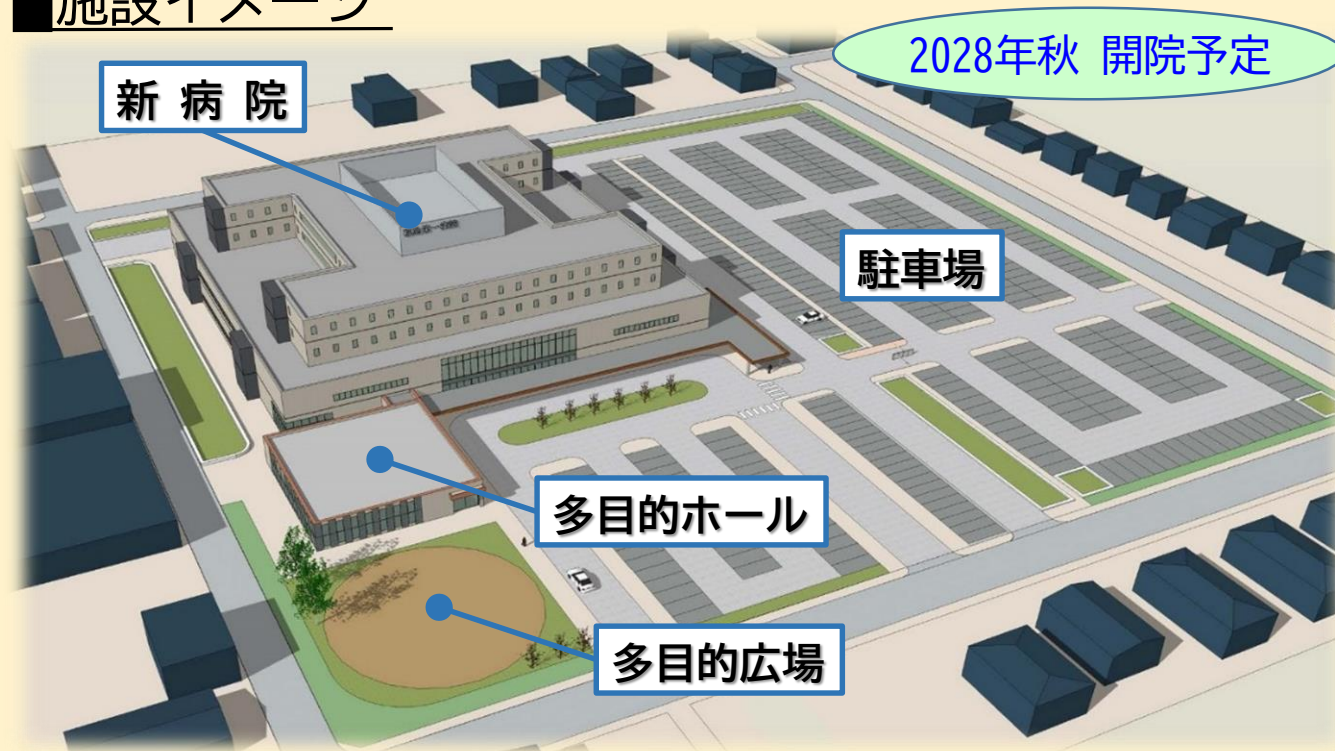
複合する施設

多目的ホール、多目的広場

<基本方針>

急性期・救急医療の継続
地域医療連携の強化と在宅医療の支援
循環器疾患への対応強化
災害時の地域支援
将来需要に適した病院運営

施設イメージ



※提案時における計画であり、今後の検討により変更することがあります。

南矢野目市有地の提案内容

記者配布資料

優先交渉権者

イオンタウン株式会社 代表取締役 加藤 久誠

提案内容

<コンセプト>

多世代交流拠点『まち・にわ・プレイス 矢野目』

核となる施設

アンケート調査で要望の多い業態で構成する商業施設

複合する施設

居心地の良い「多世代交流拠点」を目指す

地域連携・地域防災

地域交流「イオン福島店」と連携し、一時避難場所や救援物資の提供に取組む

施設イメージ

2027年春 オープン予定



核となる施設

やのめ市場



書籍&カフェ・生活雑貨



地域の医療・健康増進
に寄与する施設



イメージ画像

複合する施設

イベント広場



子ども図書館



コミュニケーションスペース



緑の遊歩道



イメージ画像

※提案時における計画であり、今後の検討により変更することがあります。